

依頼者 アイビーイー・テクノ株式会社

検体名称 コシハ'ランス 10000 通過水
 検体搬入月日 2003年(平成15年)07月11日
 検体採取時刻 ****年(平成**年)**月**日 **時**分
 検体採取場所 *****
 検体採取者氏名 *****
 検体採取者所属 *****

財団法人
日本食品分析センター
 東京本部 〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町52番1号
 大阪支所 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町3番1号
 名古屋支所 〒460-0011 名古屋市中区大須4丁目5番13号
 九州支所 〒812-0034 福岡市博多区下呉服町1番12号
 多摩研究所 〒206-0025 東京都多摩市永山6丁目11番10号
 千歳研究所 〒066-0052 北海道千歳市文京2丁目3番

当センターに搬入された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

分析試験結果

分析試験項目	基準	結果	検出限界	注	方法
一般細菌	100以下/ml	30以下/ml		1	
大腸菌群	検出されない	検出せず		1	
カドミウム	0.01mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L	1	
水銀	0.0005mg/L以下	検出せず	0.0001 mg/L	1	
セレン	0.01mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L	1	
鉛	0.01mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L	1	
ヒ素	0.01mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L	1	
六価クロム	0.05mg/L以下	検出せず	0.005 mg/L	1	
シアン	0.01mg/L以下	検出せず	0.005 mg/L	1	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/L以下	0.4 mg/L		1	
フッ素	0.8mg/L以下	検出せず	0.10 mg/L	1	
四塩化炭素	0.002mg/L以下	検出せず	0.0002 mg/L	1	
1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L以下	検出せず	0.0002 mg/L	1	
1,1-ジクロロエチレン	0.02mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L	1	
ジクロロメタン	0.02mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L	1	
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L	1	
テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L	1	
1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/L以下	検出せず	0.0005 mg/L	1	
トリクロロエチレン	0.03mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L	1	
ベンゼン	0.01mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L	1	
クロロホルム	0.06mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L	1	
ジブromクロロメタン	0.1mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L	1	
ブromクロロメタン	0.03mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L	1	
ブromホルム	0.09mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L	1	
総トリハロメタン(クロロホルム,ジブromクロロメタン,ブromクロロメタン,ブromホルムのそれぞれの濃度の総和)	0.1mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L	1	
1,3-ジクロロプロパン	0.002mg/L以下	検出せず	0.0002 mg/L	1	
シマジン(CAT)	0.003mg/L以下	検出せず	0.0002 mg/L	1	
チラム(チラム)	0.006mg/L以下	検出せず	0.0005 mg/L	1	
チオベンカルブ(ベンチカ-ブ)	0.02mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L	1	

依頼者 アイビーイー・テクノ株式会社

検体名称 コスモラクス 10000 通過水
 検体搬入月日 2003年(平成15年)07月11日
 検体採取時刻 ****年(平成**年)**月**日 **時**分
 検体採取場所 *****
 検体採取者氏名 *****
 検体採取者所属 *****

財団法人

日本食品分析センター

東京本部 〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町52番1号
 大阪支所 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町3番1号
 名古屋支所 〒460-0011 名古屋市中区大須4丁目5番13号
 九州支所 〒812-0034 福岡市博多区下呉服町1番12号
 多摩研究所 〒206-0025 東京都多摩市永山6丁目11番10号
 千歳研究所 〒066-0052 北海道千歳市文京2丁目3番

当センターに搬入された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

分析試験結果

分析試験項目	基準	結果	検出限界	注	方法
亜鉛	1.0mg/L以下	0.010 mg/L		1	
鉄	0.3mg/L以下	検出せず	0.03 mg/L	1	
銅	1.0mg/L以下	検出せず	0.01 mg/L	1	
ナトリウム	200mg/L以下	6.7 mg/L		1	
マンガン	0.05mg/L以下	検出せず	0.005 mg/L	1	
塩素イオン	200mg/L以下	6.8 mg/L		1	
カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300mg/L以下	18 mg/L		1	
蒸発残留物	500mg/L以下	51 mg/L		1	
陰イオン界面活性剤	0.2mg/L以下	0.02 mg/L		1	
1,1,1-トリクロロエタン	0.3mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L	1	
フェノール類	0.005mg/L以下	検出せず	0.005 mg/L	1	
有機物等(過マンガンを酸加剤消費量)	10mg/L以下	1.0 mg/L以下		1	
pH値	5.8~8.6	7.3 (17℃)		1	
味	異常でない	異常なし		1	
臭気	異常でない	異常なし		1	
色度	5度以下	1度以下		1	
濁度	2度以下	1度以下		1	

判定 : 46項目について水道法水質基準に適合。

注1. 水質基準に関する省令(平成4年厚生省令第69号)によった。

試験検査責任者 森田 公平

以上



Japan
Food
Research
Laboratories

1998年11月正式開院

試験報告書

有限会社 アイ・ピー・イー

第 NA68120360 号

検体

1) BSケラミック 5g

依頼者 有限会社 アイ・ピー・イー

試験目的

検体を精製水に溶解し、得られた澄液水についてマンガンなど3項目の試験を行った。

検体 本報告書中

試験概要

検体1)は20gを、検体2)は10gを精製水100mlに溶解し、室温で1時間静置した。得られた澄液水について、マンガン、アルミニウム及び有機物等（高マンガン液法）

試験項目 ①の 溶出試験

試験結果

試験結果を次のとおりとした。

平成 7 年 12 月 18 日 当センターに提出された
上記検体について試験した結果は次のとおりです。

試験項目	検体1)	検体2)	検出限界
マンガン	検出せず	検出せず	0.003mg/L
アルミニウム	検出せず	検出せず	0.05mg/L
有機物等 (高マンガン液法消費量)	1.7mg/L	1.0mg/L	

平成 8 年 1 月 11 日

代表者

日本食品分析センター



東京本部 〒116 東京都豊島区元代々木町52番1号
 大阪支所 〒584 大阪府吹田市豊津町3番1号
 名古屋支所 〒460 名古屋市中区大須4丁目5番13号
 九州支所 〒834 福岡市博多区下呉服町1番12号
 多摩研究所 〒200 東京都多摩市永山6丁目11番10号

溶出試験

1 依頼者

有限会社 アイ・ピー・イー

2 検 体

- 1) SSセラミック 6φ
- 2) SSセラミック 16φ

3 試験目的

検体を精製水に浸漬し、得られた浸漬水についてマンガンなど 3項目の試験を行う。

4 試験概要

検体1)は200gを、検体2)は 5個を精製水4.5Lに浸漬し、常温で 3時間静置した。得られた浸漬水について、マンガン、アルミニウム及び有機物等（過マンガン酸カリウム消費量）の試験を行った。

5 試験結果

試験結果を表-1 に示した。

表-1 試験結果

試 験 項 目	検体1)	検体2)	検出限界
マンガン	検出せず	検出せず	0.005mg/L
アルミニウム	検出せず	検出せず	0.05mg/L
有機物等 (過マンガン酸カリウム消費量)	1.7mg/L	1.0mg/L 以下	—



6 試験方法

試験方法を表-2 に示した。

なお、各試験は水道水質に関する基準の制定について（平成 4年衛水第 264号）別表 2「快速水道項目」により行った。

表-2 試験方法

試験項目	試験方法
マンガン	誘導結合プラズマ発光分光分析法
アルミニウム	誘導結合プラズマ発光分光分析法
有機物等 (過マンガン酸カリウム消費量)	滴定法

以 上